

# 拉致被害者の言葉に耳を傾けないマスコミ

Dappi @dappi2019

横田哲也「拉致後の20年はどこも頼れなかったが、安倍首相は第一次政権から対策本部設置など積極的で頼れる場所で心強い。安倍首相が歴代政治家の中でも拉致問題に取り組んでる事実があるのに、何でもかんでも『アベガー』と言って首相のせいにし、安倍首相を批判対象にするのは違う」



Dappi @dappi2019

昨日、拉致被害者の曾我ひとみさんが『拉致問題を風化させないためにも一人一人の声が必要だ』と訴えましたが、産経以外は紙面やTVで報じず。

先日の横田拓也さんの『マスコミもイデオロギー関係なく拉致問題を我がことのように取上げてほしい』という言葉はマスコミには響いてないようです。腹立たしい

**曾我さん「風化させないため声が必要」 小学校で特別授業**

特別授業で小学生に語りかける曾我ひとみさん  
—1日前前、新潟県佐渡市

拉致被害者の曾我ひとみさん(61)が1日、地元の新潟県佐渡市の小学校で特別授業を行った。「拉致問題を風化させないためにも一人一人の声が必要だ」と話し、ともに拉致されて行方分からなくなった母のミズさん(88)「拉致当時(46)は被害者の早期救出を訴えた。」  
新型コロナウイルスの感染予防のため、小学5年の児童約30人が体育館に隔離をあげて座り、聞き入った。授業で曾我さんは真ん先に、横田めぐみさん(55)同(18)の父で6月に新潟で死去した横田さん(55)に「ひとみはいつでもめぐみさんに会わせてあげたい」と語りかけた。こども達も「いい」と思っている様子だ。  
「ミズさんについては、毎日働きながら支えてくれたけど、今なら戻してあげたい。今なら戻してあげたい。今なら戻してあげたい。」と涙を流しながら語り、存分に話した。  
「お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに会わせてあげたい」と語りかけた。こども達も「いい」と思っている様子だ。  
参加した児童さん10は「家族や友達と一緒にいることが大切だった」と話した。  
佐渡市にある、特別授業は市内の小中学校の依頼で、曾我さんが平成24年から年10回ほど開催。新型コロナウイルスの影響で中止となった回があり、本年度は1日が初めてとなった。

横田拓也さんの『マスコミもイデオロギー関係なく拉致問題を我がことのように取上げて』を無視し、拉致被害者 曾我ひとみさんの『問題を風化させないためにも一人一人の声が必要』と言葉や横田哲也さんの『マスコミは40年何もしなかった』というマスコミ批判の声や「何でも『アベガー』と言って総理を批判対象にするのは違う」という言葉を報じないマスコミ拉致問題を蔑ろにするマスコミの姿勢こそが拉致問題解決に繋がらない大きな要因では？

令和2年  
7月3日(金)

発行者  
DAPPI



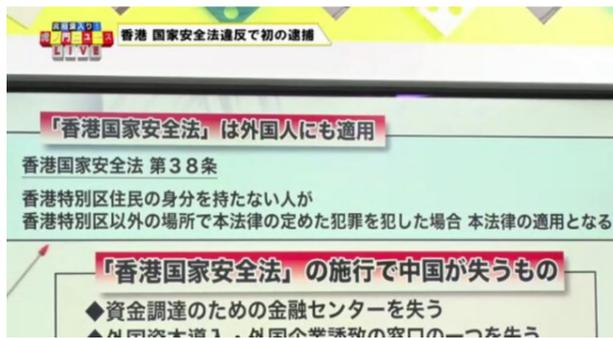
第137号



## 報道回想録

## 注目のインターネット情報

### 虎ノ門ニュース (2020年7月2日) 中国の香港国家安全法は日本人にも適用



7月2日に放送された虎ノ門ニュースで評論家の石平氏が中国が施行した香港国家安全法は日本に居る日本人も危ないものであると警鐘を鳴らした。

石氏は香港国家安全法について『これからの香港は香港政府の上に中国警察となる。そして国家安全法は拡大解釈出来るので自由自在に逮捕・中国本土へ引渡し・公開裁判をしない・殺すなど中国共産党がやりたい放題出来るようになるのが香港国家安全法』と解説。

そして『香港国家安全法 第38条に【香港住民の身分を持たない人が香港以外で国家安全法違反した場合は本法律の適用がある】と書いてあるように外国人も対象。なので中国批判をしてる我々が香港や中国に行くと逮捕される恐れがある』と日本人も逮捕される恐れがあると警鐘を鳴らした。

またジャーナリストの有本香氏は『今、日本で中国警察に捕まることはないが、それは日本に国力があるから。国力を維持し、尖閣のように線を越えて入ってきたら押し返さないといけない』と国力の重要性を説いた。

### 端島(軍艦島)に強制労働はない

Dappi @dappi2019

具然喆「軍艦島で強制連行された中国人1000人が日本人に虐殺された！」  
中村陽一「強制労働はなかったのになぜ韓国から端島(軍艦島)が地獄島と言われないといけない? 具氏は『軍艦島で酷いことをされた。小学校に居た』と主張してるが、我々の同級生は誰も具氏を知らない。真実を言ってない」



2020年7月1日 (DHCテレビ 虎ノ門ニュース)